

厚生労働科学研究費補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）
総合研究報告書

過疎地域等における急性心筋梗塞の急性期治療の体制整備に関する研究

研究分担者 山岸 正和 金沢大学医薬保健研究域医学系臓器機能制御学 教授
循環器内科
坂田 憲治 金沢大学医学部附属病院 循環器内科 助教

【研究要旨】 地方 4 県を対象に都市部および過疎地域を含む医療圏における急性心筋梗塞に対する診療実態を分析することにより、各医療圏における問題点を抽出し、特に過疎地域における急性心筋梗塞の救急医療体制について検討すること。

A. 研究目的

本研究の目的は、地方 4 県を対象に都市部および過疎地域を含む医療圏における急性心筋梗塞に対する診療実態を分析することにより、各医療圏における問題点を抽出し、特に過疎地域における急性心筋梗塞の救急医療体制について検討することである。

B. 研究方法

青森県、三重県、石川県、愛媛県における急性冠症候群患者を前向きに登録し、各県において都市部と過疎地域の 2 群に分けた上で、医療圏ごとの急性心筋梗塞の発生状況や救急医療体制や予後に関する現状分析を行う。各県、医療圏間で比較を行うとともに、大都市（東京都 CCU ネットワーク）におけるデータと比較検討する。

（倫理面への配慮）

- 1) 本研究は多施設観察研究であり、担当医師はヘルシンキ宣言を遵守し実施する。
- 2) 本研究では原則的にそれぞれの医療機関が通常行っている治療方針に基づいて治療法・薬剤等の使用が決定されるものである。
- 3) 患者データの取り扱いについてはその機密保護に十分に配慮する。個人情報はずべて匿名化し、個人が特定されないよう格別の配慮を要する。登録システムに関しても SSL(Secure Socket Layer)によりデータを暗号化することで個人データ漏洩のリスクを最小化するように配慮する。

C. 研究結果

石川県内の 8 参加施設（金沢大学附属病院循環器内科、小松市民病院、恵寿総合病院、金沢医療センター、金沢医科大学病院、石川県立中央病院、公立松任石川中央病院、心臓血管センター金沢循環器病院）で平成 25 年 4 月より平成 26 年 3 月まで、インターネットを介し

た Web 登録作業を開始し、石川県においては、合計 230 症例を登録完了した。詳細な解析は、データクリーニング後、各地域のデータ統合後に行われる予定である。

D. 考察

倫理委員会申請の遅れにて登録開始が遅れたが、Web による登録システムを用いることで、石川県内での円滑な急性冠症候群のデータ収集を完了することが出来た。今後は、基本収集データのクリーニング後に初期治療状況の解析を行い、他県の過疎地域および都心部とのデータを比較検討する。さらに引き続き予後の状況など経過を追跡する。

また、今回の研究のサブ解析として、

- 1) 急性冠症候群におけるスタチン治療の普及状況、スタチン治療を導入されなかった症例の傾向と対策
- 2) 症例ごとに心筋梗塞発症要因に関する情報が収集されており、ステント血栓症とその他の急性心筋梗塞症例との比較検討を、データ統合後に解析する予定である。

E. 結論

石川県における急性冠症候群に対する診療実態を、Web を用いたデータシステムにて登録し、地域間での救急医療体制の医療格差を検討し、問題点を抽出していく。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし